



# 3 なみがくい

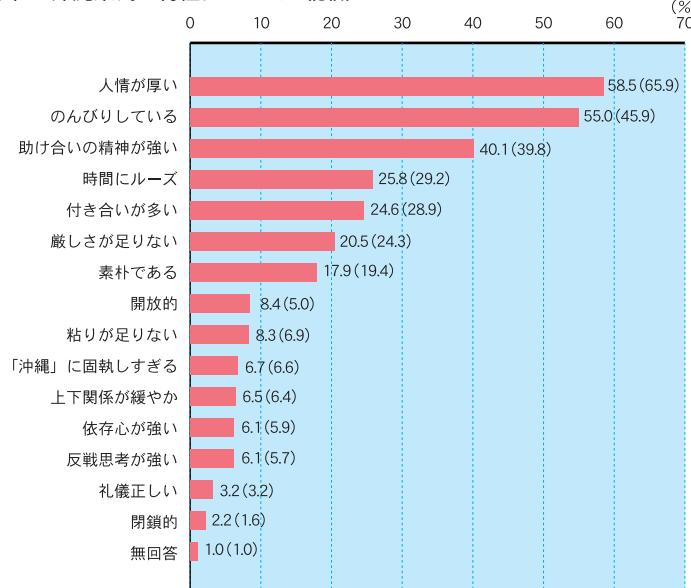
## ・数字の小道

すうじの  
こみち

### ⑦沖縄の県民性や郷土に対する県民意識

総務部調査企画課

図1：沖縄県民の特性についての認識



備考：1. 琉球新報社が2006年に実施した「県民意識調査」による（図2～4も同じ）。  
2. 回答は各項目より3つ選択方式。  
3. ( ) は2001年の同期調査結果。

図3：地域の行事や祭りへの参加の程度

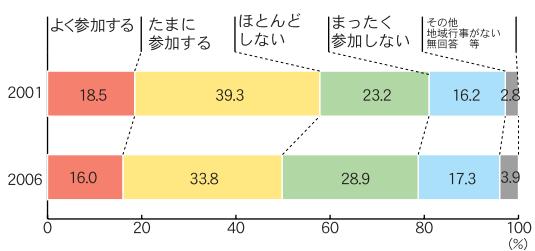


図2：隣近所との付き合いの程度

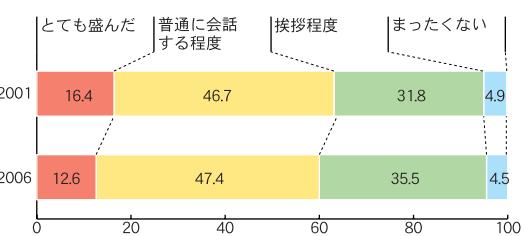


図4：隣近所との付き合いの程度（地域別）

「とても盛んだ」と答えた人の割合



### ・「人情が厚い」「助け合いの精神が強い」とみる沖縄県民

沖縄県民は、「ユイマールの精神」という言葉で表されるように、全国の中でも助け合いの精神が強いと言われています。琉球新報の「県民意識調査（2006）」をみて、沖縄県民の特性として、多くの県民が「人情が厚い」（58.5%）、「助け合いの精神が強い」（40.1%）といった項目を挙げています（図1）。なお、これらのほか、上位には「のんびりしておる」（55.0%）という項目も入っています。

とじじゆぐ、5年前の同調査結果と比較してみると、「助け合いの精神が強い」を挙げる人の割合はほとんど変わらないものの、「人情が厚い」の割合は7.4%低下しています。また、地域社会の中での人と人のつながりや地域との関わり方に変化がみられます。「隣近所との付き合いの程度」について、「とても盛んだ」と答えた人の割合は、12.6%と5年前と比べ3.8%低下し、「地域の行事や祭りへの参加の程度」を地域別にみてみると

しても、「よく参加する」「たまに参加する」の合計が8%と5年前より8.0%低下しています（図2・図3）。さらに、「隣近所との付き合いの程度」を地域別にみると

と、「とても盛んだ」と答えた人の割合は、北部地域や宮古・八重山地域の方が中南部地域に比べ高い水準にあります。5年前と比べるとどの地域も低下していますが、北部地域や宮古・八重山地域の方が中南部地域に比べ、低下幅はより大きくなっています（図4）。

このように、「ユイマール精神が強い」と言われる沖縄でも、地域社会の中の人とのつながりが以前ほど強るものでなくなりつたり、地域との関わりが弱まってきているのかもしれません。北部地域や宮古・八重山地域は、中南部地域に比べて相対的に地域のつながりが強いとみられます。が、そういった地域でも近年変化が起っている可能性があります。

（注）沖縄の方言で、労働交換のならわし。共同体のもっとも原初的な相互助け合い。血縁関係から集落単位のものまで、形態はさまざま。古くは田植え、サトウキビの刈り取り、家の普請までユイマールに頼った。（琉球新報社「沖縄コンパクト辞典」より）

## ・地域活動の新たな扱い手

沖縄では、前述のような変化が起きつつあるとしても、未だ地縁型のコミュニティが存続し、重要な役割を果たしている地域も少なくないと思われますが、全国の状況をみると、東京や大阪、名古屋をはじめとする大都市圏などでは、

中には、高齢化や人口減少により地縁型コミュニティの活動が停滞しているところもあります。

こうした中で、価値観の多様化や社会貢献活動への関心の高まりなどから、共通の問題意識を持つた人達が自発的に集まり、福祉やまちづくりといった特定の目的を掲げて社会貢献活動を行うNPO (Non-profit Organization, 非営利組織)などの多様な主体が、地域活動の新たな扱い手として注目されています。

沖縄においても、NPO活動が活発化しています。沖縄市においても、NPO法人が増加しています。

県の設立認証を受けたNPO法人の数は加速的に増加しており、平成19年2月1日現在で271法人に上っています。その活動分野をみると、「保健医療又は福祉の増進」「社会教育の推進」「まちづくりの推進」「子どもの健全育成」の割合が高くなっています。

「子どもの健全育成」の割合が最も高いです。

市町村別NPO法人数(主たる事務所の所在地)を多い順にみると、271法人中、那覇市が109法人、続いて浦添市が

21法人、沖縄市が16法人、宮古島市が15法人、宜野湾市が13法人となっています(図5)。

このように、沖縄県においても近所付き合いが相対的に盛んでない都市部を中心に、NPO活動が着実に広がっているようです。

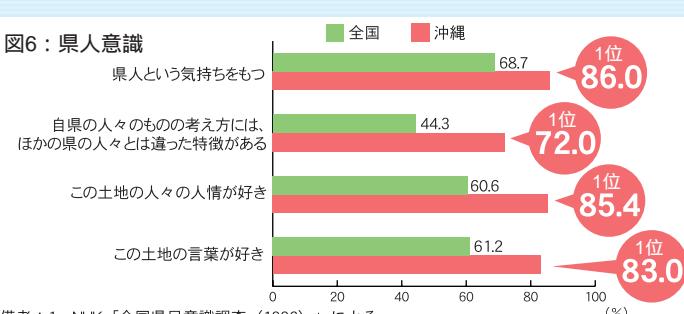
でも、アンケートに回答した沖縄県民の8割以上が沖縄県人であることを誇りに思うと答えています。

このような沖縄県民の郷土に対する強い愛着や誇りは、地域のための行動につながる大きな可能性を秘めています。一人一人が地域の問題に関心を持ち、できることを実行していくことが大切ではないでしょうか。

(調査企画課／伊波 沙耶佳・石川 正之)

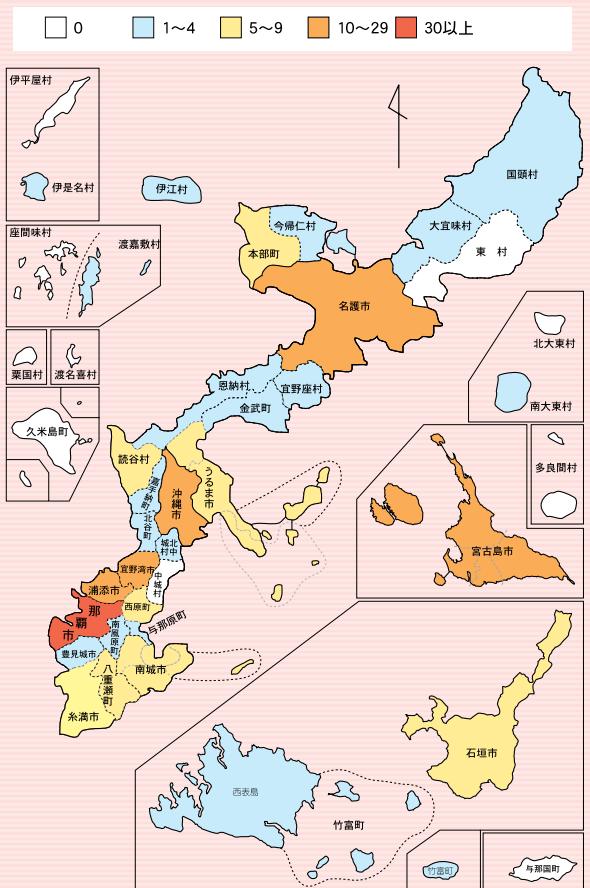
## ・沖縄への強い愛着と誇りを活かそう

NHKの「全国県民意識調査(1996)」によると、沖縄県民は、「沖縄県人」という気持ちをもつ、「沖縄県の人びとのもの考え方には、ほかの県の人々とは違った特徴がある」と考えている人の割合が全国高く、また沖縄のことばや「人情」が好きな人の割合も、全国トップとなっています(図6)。さらに、



備考：1. NHK「全国県民意識調査(1996)」による。  
2. 図中の順位は、全国における沖縄の順位。

図5：市町村別NPO法人数



備考：1. 2007年2月1日現在の沖縄県認証分NPO法人数である  
(沖縄県県民生活課)。  
2. 主たる事務所の所在地によりカウントしている。

琉球新報の「県民意識調査(2006)」

今回で全7回の「なかなか」は終わりです。ゆくゆくは終わります。ご愛読ありがとうございました。